

仏前結婚式 式次第 (一例)

次 第	式師	殿行・送迎・堂行・音響	司会	新郎新婦	仲人・父母
準備、点検 清掃、準備物の確認 親族来賓着座	1、資格衣 2、式次第を説明し打ち合わせをする 3、「誓約文」に署名の確認	1、式師南面の机上の準備物 2、前机上の準備、点燭・点香 3、新郎新婦の前机上の準備 3、「啓白文」を向卓上に供える 4、内陣に点燭し香炉の炭火を確かめる 5、音響機器の点検 音響『結婚讃歌』『法の深山』など	1、式場の席次を点検する 2、親族来賓を式場に案内する 3、仏前結婚式の概要をアナウンス 『本日はまことにおめでとうございます。まもなく仏前結婚式の開式でございます。人生は不思議な縁のめぐり合わせ、ましてこの世にいのちをいただき、数多い人々の中でご夫婦の契りを結ばれますことは、深いみ仏のお導きがあったればこそと思われます。 ここに、人生の門出をかざる結婚の儀を、み仏のみそなわすもと、その慈しみの光に照らされて執り行うことができますことは、この上ない幸いです。 式の中で合掌—お手をお合わせください、と申し上げます。合掌は仏教徒の礼儀作法でございます。後にご案内申し上げました際には、合掌礼拝をお願いいたします。また、式中に「般若心経」および「三帰礼文」をお読みいたします。お手元の冊子を取っていただき、一緒にご唱和ください。 なお、三帰礼文は、式師さまが出だしの一句をお読みいたしますので、それに続いて2句目からご唱和ください。 式は30分ほどの短い時間ではありますが、おふたりにとっては記念すべき今日、この時であります。どうぞ皆様には温かい心でお二人の結婚式をお見守りくださり、お二人の幸せをお祈りいただきたいと思います。存じます。』	1、衣装、美容 2、「誓約文の署名」	1、衣装、美容 2、新郎新婦の衣装を点検する
1、殿 鐘		殿鐘を打つ			

次 第	式師	殿行・送迎・堂行・音響	司会	新郎新婦	仲人・父母
1、新郎新婦入場			殿鐘一会中アナウンス 新郎新婦を式場へ案内する 『(ご媒酌人に伴われまして) 新郎・新婦の入堂でございます』	式場係の案内で入場する	仲人が先導し、新郎新婦、父母の順で入場する
1、新郎新婦着座		音響を徐々に止める	(正面に新郎・新婦到着後) "新郎・新婦はご着席下さい"		
1、式師入堂	入堂、進前焼香	式師にあわせて合掌・礼拝する	式師にあわせてアナウンス 『式師さまのご入堂です。本日の式師をおつとめになるのは、〇〇寺御住職、〇〇老師でございます』 "合掌・礼拝"をすすめる	式師にあわせて合掌・礼拝する	式師にあわせて合掌・礼拝する
1、開式の言葉			"只今より、〇〇様・〇〇様の仏前結婚式を執り行います。"		
1、献香三拝			『式師さまは、ご本尊さまに香り高いお香を薫じられ、三度礼拝なされます。皆様もその場で一緒に合掌礼拝をお願いいたします。』		
1、本尊上供	般若心経を読誦する	般若心経を読誦、回向	般若心経を読誦する 『般若心経をお読みいたします。お手元の・・・をお開きください』 回向中"合掌・礼拝"をすすめる	般若心経を読誦する	般若心経を読誦する
1、啓白文	進前、北面して奉読、終わって南面	啓白文を式師へ	『啓白文奉読、これより式師さまが本日の結婚の儀を執り行う旨を奉読され、あわせてお二人の将来に幸あらんことを祈願いたされます。』 "合掌・"をすすめる 『お二人の結婚の儀を執り行う旨、ご本尊さま、ご両家のご先祖さまに奉告なされました』		
1、洒水灌頂	洒水器を取り、灌頂洒水	音響『覚—めざめ—』など	『つづきまして、浄めの式を行います。浄らかなお水を頭上に注ぎ、お二人の身と心を浄め、み仏のいのちをいただく式であります。皆様合掌をお願いいたします。』	起立・合掌	

次 第	式師	殿行・送迎・堂行・音響	司会	新郎新婦	仲人・父母
1、寿珠授与	寿珠を新郎新婦へ		『睦の式であります。式師さまよりお二人に夫婦寿珠が授けられます。新郎新婦は合掌のまま寿珠をいただき、いただきましたら、左手首におかけください。 寿珠は、仏教徒の象徴であり、その珠は、心の丸みを、その輪は人のつながりの和を表しています』	起立のまま、合掌で寿珠を受ける	
1、指輪交換 (希望者のみ)	交換し終わったら「式師・誓約文」を前机へ。		『指輪交換をおこないます。新郎から新婦へ、新婦から新郎へ指輪をお互いに交換いたします』	指輪を互いに交換。	
1、三帰礼文	式師は初めの一句を唱え、戒尺一下、以下一同唱和。		『三帰礼文をご唱和します。おてもとの〇〇をお取りください。式師さまに続いてお唱えください』	式師に続いて唱和。	式師に続いて唱和。
1、盃事 (三三九度)		新郎新婦の前に至り、三々九度。 ①新郎→新婦→新郎 ②新婦→新郎→新婦 ③新郎→新婦→新郎 音響『寿盃』など	『これより三三九度の盃がとり行われます。新郎新婦はご起立ください』		
1、盃事 (固めの盃)		親族、新郎新婦、式師にお酒を配る 音響『寿盃』など	『引続き、ご両家固めの盃を執り行います。順次、皆様の盃にお酒を満たしてまいります。全員お揃いになりましたら、式師さまのご発声によって盃を納めさせていただきます。』 ----- (終わって) ----- 『おめでとうございます。ここに新しく一組のご夫婦が誕生し、幾久しく御付き合い願うご親戚が出来たわけでございます。』		
1、誓約文	新郎新婦が「誓約文」に拇印を押した後、式師がお押印。それを参列者に披露する。		式師が席に着いた時アナウンス 『誓いの言葉です。お二人の今日の慶びと人生の門出にあたっての決意が申し述べられます』 ----- (終わって) ----- 『ここで、お二人は誓約文に押印され、さらに式師さまがこれを証明なさいます。これは新家庭に末永く保管願います』	式師の指示によって「誓約文」を読む。新郎が代表して読み、名前は新郎新婦それぞれが読む。終わって捺印。	

次 第	式師	殿行・送迎・堂行・音響	司会	新郎新婦	仲人・父母
1、新郎新婦焼香			式師が控席に着席した後アナウンス ”新郎・新婦焼香”をうながす	新郎・新婦の順で焼香をし、そろって合掌礼拝	仲人は、新婦焼香の時、衣装の世話をする
1、式師示訓	おさとしの言葉をのべる。		『式師より、お二人のお祝いの言葉をかねて、おさとしを賜ります』		
1、式師祝辞	祝辞を述べる				
1、仏教讃歌 (必要に応じ)	斉唱	斉唱	法話が終わったらアナウンス ”〇〇を歌います。皆様斉唱をお願いします”	斉唱	斉唱
1、普回向・普同三拝	合掌礼拝する	式師にあわせて合掌礼拝する	”合掌・礼拝”をすすめる。 『結婚式が滞りなく円成いたしましたことを、み仏にお礼申し上げる礼拝でございます。式師さまにあわせて合掌礼拝をお願いいたします』	式師にあわせて合掌礼拝する	式師にあわせて合掌礼拝する
1、式師退堂	外陣中尊から後門へ		”式師の御退堂です”		
1、新郎・新婦退堂		音響『人生(二人の道)』『結婚讃歌』など	”新郎・新婦の退堂でございます”	アナウンスにあわせて退堂	
1、親族紹介		マイクを両家に	『それでは、両家の親族紹介に移させていただきます。新郎側よりお願いいたします』		順次紹介
1、閉式の言葉			『以上をもちまして、〇〇様・〇〇様の結婚式を終了致します。おめでとうございます』		
1、合掌礼拝		合掌礼拝	”一同合掌 礼拝”	合掌礼拝	合掌礼拝